

○千葉県地域防災計画【第1編 総則】

担当部署名 ページ	修正理由	修正案	現行
防災対策課 災害情報室 総-1-2	県内市町村が日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域に指定されたため	<p align="center">第1章 計画の目的及び構成 第2節 計画の構成</p> <p>第2編地震・津波編は、地震や津波による被害を軽減し、県民の生命、身体及び財産を守ることを目的とし、平時からの災害予防対策、発災時における災害応急対策及びその後の復旧対策の基本についてまとめたものである。平成23年3月に発生した東日本大震災では、本県においても津波による大きな被害が発生したことから、津波対策の充実を期するため、平成24年修正において従来の震災編を改称したものである。また、南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法(平成14年法律第92号)第5条第2項に基づく推進計画及び日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法(平成16年法律第27号)第5条第2項に基づく推進計画の内容を含むものとする。</p>	<p align="center">第1章 計画の目的及び構成 第2節 計画の構成</p> <p>第2編地震・津波編は、地震や津波による被害を軽減し、県民の生命、身体及び財産を守ることを目的とし、平時からの災害予防対策、発災時における災害応急対策及びその後の復旧対策の基本についてまとめたものである。平成23年3月に発生した東日本大震災では、本県においても津波による大きな被害が発生したことから、津波対策の充実を期するため、平成24年修正において従来の震災編を改称したものである。また、南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法(平成14年法律第92号)第5条第2項に基づく推進計画の内容を含むものとする。</p>
防災対策課 災害情報室 総-3-6	指定公共機関に指定されたため	<p align="center">第3章 防災関係機関等の処理すべき事務又は業務の大綱</p> <p>【指定公共機関】 <u>(楽天モバイル(株))</u> <u>1 電気通信施設の整備に関すること</u> <u>2 災害時等における通信サービスの提供に関すること</u> <u>3 被災電気通信施設の応急対策及び災害復旧に関すること</u></p>	<p align="center">第3章 防災関係機関等の処理すべき事務又は業務の大綱</p> <p>【指定公共機関】 <u>(新規)</u></p>
産業保安課 総-3-7	公益法人化のため	<p>【指定地方公共機関】 <u>(公社)千葉県LPガス協会</u></p>	<p>【指定地方公共機関】 (一社)千葉県LPガス協会</p>

担当部署名 ページ	修正理由	修正案							現行										
防災対策課 災害対策室 総-4-9		第4章 地勢概要等 5 過去の災害 (1) 千葉県が影響を受けた主な地震・津波災害(江戸時代以降)							第4章 地勢概要等 5 過去の災害 (1) 千葉県が影響を受けた主な地震・津波災害(江戸時代以降)										
		番号	西暦年月日 (日本歴)	震央		マグニチュード	県内最大震度	地 変	津 波	人命・ 家屋等の 被害	番号	西暦年月日 (日本歴)	震央		マグニチュード	県内最大震度	地 変	津 波	人命・ 家屋等の 被害
				東経 北緯	震央 地名								東経 北緯	震央 地名					
15	2011. 3. 11 (平成 23 年)	142. 9	三陸 沖	9.0	6弱	東京湾岸の埋立地や利根川沿いの低地等においては、長く続いた地震の揺れにより地盤の液状化が発生した。市街地では、地震時、建物は ゆっくりと大きく揺れ、道路では敷地等の境がずれるように水平移動を繰り返す、間もなく地面から大量の泥水が湧き出した。マンホールは歩道の真ん中で大きく突出し、電柱や信号機は傾き、沈み込んだ。泥水の噴出とともに、戸建等の住宅が ゆっくりと沈み込み、各地で噴砂、沈み込み、浮き上がり、抜け上がり、地盤等の様々な液状化被害が発生した。水道、下水道等のライフラインも、液状化により至る所で管が破壊された。	津波観測点「鏡子」では押波による第一波を15時13分に観測。17時22分に津波の最大の高さ2.5mを観測した。潮位計のデータでは、13日以降も津波による潮位変化が観測されている。九十九里地域に押し寄せた津波は、山武市では海岸線から3km近くの陸域にまで到達し、利根川では河口から18.8kmまで遡上、浸水面積は九十九里地域(鏡子市～いすみ市)で23.7km ² に達した。この津波は、旭市飯岡地区に甚大な被害をもたらした。海浜防脚ラインの背後に砂丘や保安林のないこの地区に、7.6mと推定される第3波の津波が襲来し、県民の生命・財産を奪い去った。	<p><u>令和4年8月3日現在</u></p> 死者22名(うち、津波による死者14名(旭市13名、山武市1名)、行方不明者2名(津波による)、負傷者270名。 建物全壊807棟、 <u>半壊10,313棟</u> 、 <u>一部損壊57,497棟</u> 、建物火災15件、床上浸水61棟、床下浸水455棟。 水道断水177,254戸、減水129,000戸。 下水道24,300戸で使用制限。 ガス8,631戸で停止。 電気347,000戸で停電。 国道、県道で全面通行止め33カ所、片側通行規制12カ所。 農業施設の損壊2,257カ所ほか。 漁船転覆・乗り上げ等390隻。 石油コンビナート爆発事故(市原市)。 福島第一原発事故による計画停電、放射性物質に伴う農林水産物の出荷制限や観光等の風評被害、上下水道施設や一般廃棄物処理施設から発生される焼却灰や汚泥からも高濃度の放射性物質が検出された。	<p><u>令和3年8月6日現在</u></p> 死者22名(うち、津波による死者14名(旭市13名、山武市1名)、行方不明者2名(津波による)、負傷者270名。 建物全壊807棟、 <u>半壊10,312棟</u> 、 <u>一部損壊57,449棟</u> 、建物火災15件、床上浸水61棟、床下浸水455棟。 水道断水177,254戸、減水129,000戸。 下水道24,300戸で使用制限。 ガス8,631戸で停止。 電気347,000戸で停電。 国道、県道で全面通行止め33カ所、片側通行規制12カ所。 農業施設の損壊2,257カ所ほか。 漁船転覆・乗り上げ等390隻。 石油コンビナート爆発事故(市原市)。 福島第一原発事故による計画停電、放射性物質に伴う農林水産物の出荷制限や観光等の風評被害、上下水道施設や一般廃棄物処理施設から発生される焼却灰や汚泥からも高濃度の放射性物質が検出された。										

担当部署名 ページ	修正理由	修正案										現行									
防災対策課 災害対策室 総-4-9	時点修正のため	16	2012.3.14 (平成24年)	14 0.9 35. 7	千葉 県東 方沖	6.1	5強	銚子市市道の一部 で、液状化による噴砂 等が発生した。			県内で死者1名、負傷者1名、家屋 の半壊2棟、一部損壊219棟の被害 がでた。その他、銚子市では、ブロッ ク塙等が4か所で倒壊、また銚子市 及び香取市において、一時、約 14,800軒以上に断水が発生した。	16	2012.3.14 (平成24年)	14 0.9 35. 7	千葉 県東 方沖	6.1	5強	銚子市市道の一部 で、液状化による噴砂 等が発生した。			県内で死者1名、負傷者1名、家屋 の半壊2棟、一部損壊219棟の被害 がでた。その他、銚子市では、ブロッ ク塙等が4か所で倒壊、また銚子市 及び香取市において、一時、約 14,800軒以上に断水が発生した。
		17	2018.7.7 (平成30年)	14 0.6 35.1	千葉 県東 方沖	6.0	5弱				被害なし	17	2018.7.7 (平成30年)	14 0.6 35.1	千葉 県東 方沖	6.0	5弱				被害なし
		18	2019.5.25 (令和元年)	14 0.3 35.2	千葉 県北 東部	5.1	5弱				県内で軽傷者1名(千葉市) <u>家屋の一部損壊5棟</u>	18	2019.5.25 (令和元年)	14 0.3 35.2	千葉 県北 東部	5.1	5弱				県内で軽傷者1名(千葉市)
		19	2020.6.25 (令和2年)	14 1.1 35. 5	千葉 県東 方沖	6.1	5弱				県内で重傷者1名(市原市)、軽傷者 1名(いすみ市) <u>家屋の一部損壊7棟</u>	19	2020.6.25 (令和2年)	14 1.1 35. 5	千葉 県東 方沖	6.1	5弱				県内で重傷者1名(市原市)、軽傷者 1名(いすみ市)
		20	2021.10.7 (令和3年)	10 0.4 35.4	千葉 県北 西部	5.9	5弱	市原市で漏水が発生 (1か所)			県内で重傷2名(木更津市、習志野 市)、軽傷者12名 袖ヶ浦市の危険物施設で火災が発 生(負傷者なし)	(新規)									
防災対策課 災害対策室 総-4-11	時点修正のため	(2) 風水害										(2) 風水害									
		災害原因	発生日	被害の概要						がけくずれ 発生件数	災害原因	発生日	被害の概要						がけくずれ 発生件数		
				人的被害・人		住家被害・戸							人的被害・人		住家被害・戸						
		死者	負傷者	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	死者	負傷者	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	死者	負傷者	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	発生件数	
		台風9号	平成22年 9月8日	—	1	—	—	114	191	—	台風9号	平成22年 9月8日	—	1	—	—	114	191	—		
台風15号	平成23年 9月20日	—	23	—	—	1	3	1	台風15号	平成23年 9月20日	—	23	—	—	1	3	1				
野田市 竜巻災害	平成25年 9月2日	—	1	1	5	—	—	—	野田市 竜巻災害	平成25年 9月2日	—	1	1	5	—	—	—				
台風26号	平成25年 10月15 日	1	22	6	9	1,489	2,794	34	台風26号	平成25年 10月15 日	1	22	6	9	1,489	2,794	34				

担当部署名 ページ	修正理由	修正案									現行								
		平成26年 大雪被害	平成26年 2月8日	2	450	0	0	0	0	0	0	平成26年 大雪被害	平成26年 2月8日	2	450	0	0	0	0
防災対策課 災害対策室 総-4-11	時点修正のため	平成26年 大雪・大雨 洪水	平成26年 2月14日 ～15日	0	96	0	0	0	0	0	平成26年 大雪・大雨 洪水	平成26年 2月14日 ～15日	0	96	0	0	0	0	0
		台風18号	平成26年 10月5日	2	14	0	1	4	30	9	台風18号	平成26年 10月5日	2	14	0	1	4	30	9
		房総半島 台風(*)	令和元年 9月9日	12	91	448	4,694	8	42	6	房総半島 台風(*)	令和元年 9月9日	12	91	448	4,694	8	42	6
		東日本 台風(*)	令和元年 10月12 日	1	25	32	379	0	33	0	東日本 台風(*)	令和元年 10月12 日	1	25	32	379	0	33	0
		10月25日 の大雨(*)	令和元年 10月25 日	12	11	34	<u>1,889</u>	173	542	30	10月25日 の大雨(*)	令和元年 10月25 日	12	11	34	<u>1,890</u>	173	542	30
		※人的被害の死者には、行方不明者を含む。 *房総半島台風(令和2年9月30日現在)、東日本台風(令和3年1月21日現在)、10月25日の大雨(令和2年10月23日現在)の数値となります。									※人的被害の死者には、行方不明者を含む。 *房総半島台風、東日本台風及び10月25日の大雨の被害の概要は、令和3年1月21日現在の数値となります。								